

令和6年度老人保健健康増進等事業

広域的長期浸水(湛水)・液状化被害による長期孤立が予測される海拔ゼロメートル地帯に  
おける災害時福祉医療連携ネットワークモデルの作成を目指した調査研究事業

# 災害時保健医療福祉情報連携 ネットワークシステム 行動計画

DH-Wins

DH-Wins ap

Disaster Healthcare & Welfare Information Network System  
Action Plan

愛知医科大学災害医療研究センター



# 目 次

I	DH-W ins の概要	1
	経緯	3
1	名称	3
2	システム概要	3
	(1)施設の行動	
	(2)市町村の行動	
	(3)県の行動	
3	アプリ機能	5
II	DH-W ins 活用要領	7
A)	施設編	
1	情報区分	9
	(1)事前入力	
	(2)緊急情報と詳細情報	
2	入力要領と評価基準	10
	(1)建物被害状況(階層)	
	建物被害状況(場所)詳細情報	
	(2)職員被害状況	
	(3)利用者被害状況	
	(4)ライフライン被害状況	
	(5)備蓄状況	17
3	情報伝達(被害状況報告)	18
	(1)災害時情報共有システムによる報告	
	(2)衛星携帯電話、防災無線等による音声通話	
4	現状分析と対応	21
	(1)被害状況の集計	
	(2)具体的被害状況の共有	
	(3)検討事項	
	(4)要避難者一覧表の作成送付	22
5	要避難者一覧表	24
	(1)要避難者一覧表	
	(2)健康状態一覧表	
6	事前の備え	25
	(1)推奨する災害時対応通信機器	
	(2)衛星通信の機能比較	
	(3)推奨する備え	26
	①被害減災策	
	②長期孤立対策	

B) 市町村編	
1 市町村内施設被害状況の予測	27
(1) 支援見積の目安	
(2) 災害対応機能の把握	
(3) 市町村内施設被害予測表の作成	
2 市町村内施設被害状況把握	28
(1) 市町村内施設被害状況一覧表の作成	
(2) 被害評価	
3 現状分析と支援方針	29
4 市町村内施設要避難者把握	30
5 情報伝達	30
C) 県編	
1 県内施設被害状況把握	31
(1) 県内施設被害状況一覧表の作成	
(2) 被害評価	
2 現状分析と支援方針	32
(1) 優先順位の目安	
(2) 具体的支援調整	
(3) 現状分析シート例	

# I D H-W ins の概要



## 【経緯】

南海トラフ地震等激甚災害では、被害が広域的かつ甚大となり、海拔ゼロメートル地帯などの低地では浸水した津波が滞り、ライフライン供給も途絶することが予測されます。

その地域に所在する高齢者介護施設等は長期間の孤立状態となり、施設機能は消失、利用者の健康状態はより悪化し、震災関連死のリスクが高くなることから、早急な公的支援体制が求められます。

このような背景から、令和6年度の調査研究事業では、激甚災害で長期孤立する高齢者介護施設に対する効果的支援体制が行える「災害時福祉医療連携ネットワークモデル」構築を目指し、愛知県西部の海拔ゼロメートル地帯を対象にモデル地域として検討してきました。

本事業では、海拔ゼロメートル地帯の市町村及び高齢者介護施設職員で構成した検討委員会を設置し、能登半島地震の支援経験、令和4・5年度老人保健健康増進等事業から得た知見を踏まえ、施設・市町村・県が連携した支援体制のあり方を検討し、公助・共助機関が一体となった地域全体の介護・医療機能の継続を行うべく、災害時保険医療福祉情報連携ネットワークシステム(D H-W ins)を作成しました。

D H-W ins では、施設がBCP、防災マニュアル行動計画に基づき収集した施設の人的・物的被害情報をアプリ機能による集計後、要避難者、要医療者を選定するとともに施設として避難、籠城、業務継続等の方針を決定し、市町村、都道府県と情報共有をし、市町村・都道府県が支援方針を確認し、医療搬送先、避難先、避難方法、物品支援等の支援が行われる構成としていますので、より効果的かつ現実的な支援が行われるものと思料します。

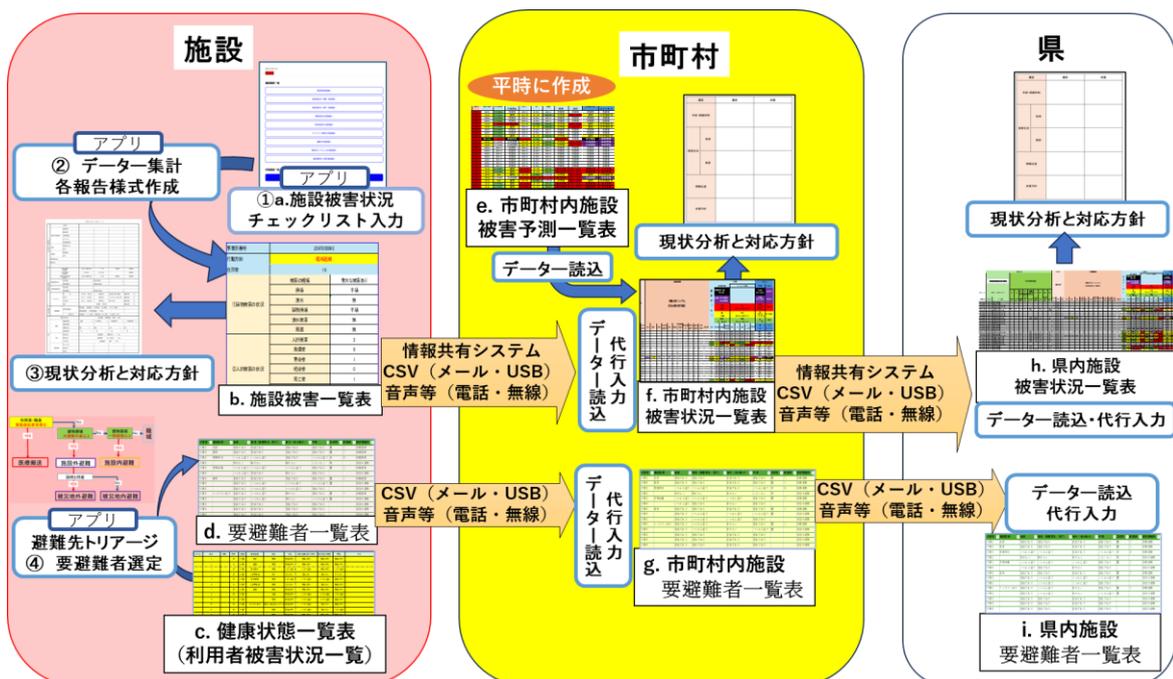
### 1 名称

本システムは、大規模災害時における保健医療福祉情報連携を主眼としていることから「災害時保健医療福祉情報連携ネットワークシステム」とし、英字表記の“Disaster Healthcare & Welfare Information Network System”の略称「D H-W ins」をシステム名称としています。

### 2 システム概要

図1のように被災施設への支援に必要な情報をアプリにより集計し、災害時に活用できる情報伝達方法で市町村、都道府県へ送付し、市町村・都道府県が効果的な支援を検討できることを目的としています。

(図1)



## (1) 施設の行動

### ① 被災状況の把握

発災後、施設・人的被害状況、ライフライン・備蓄状況の確認後、アプリ「a.施設被害状況チェックリスト」に入力

### ② 集計と伝達

アプリ機能で「b.施設被害一覧表」を集計作成し、Microsoft Excel® CSV(以下「CSV」という)ファイルに変換してメール送信、または情報共有システム、メール、音声等で市町村に伝達

### ③ 現状分析と対応方針検討

「b.施設被害一覧表」記載内容を現状分析シートに転記し、施設被害状況の分析を行い、施設対応方針を決定し、職員間で共有

### ④ 要避難者選定

- ・アプリ「利用者被害状況一覧」を印刷し、「c.健康状態一覧表(利用者被害状況一覧)」とし、アプリのトリアージ機能で作成された「d.要避難者一覧表」を作成
- ・「d.要避難者一覧表」を CSV ファイルに変換し、市町村へメールまたは音声で伝達

## (2) 市町村の行動

### ① 市町村内施設被害状況の予測

施設被害状況報告が速やかに行われないうちに備えて、各施設災害対応機能を事前に把握し、ハザードマップで照合し「e.市町村内施設被害予測一覧表」を作成し、支援見積をたてる

### ② 市町村内施設被害状況把握

- ・メール送信された CSV 施設被害情報、(2)-①で事前作成した「e.市町村内施設被害予測一覧表」をアプリ機能で「f.市町村内施設被害状況一覧表」に読込む
- ・音声で施設被害状況報告された場合には、その内容を「f.市町村内施設被害状況一覧表」に代行入力

### ③ 市町村内施設要避難者把握

施設より送付された「g.市町村内施設要避難者一覧表」を集計し、医療搬送対象者、施設外避難者を把握

### ④ 現状分析と対応方針検討

- ・アプリ機能で表示された施設被害状況、支援内容、要避難者を現状分析シートに転記し、施設別の支援方策を検討し、福祉担当者、医療担当者、危機管理担当者と共有
- ・市町村で避難先、避難手段確保可能な場合は市町村で調整

### ⑤ 情報伝達

(2)-②で作成した「f.市町村内施設被害状況一覧表」ファイル、(2)-③で作成した「g.市町村内施設要避難者一覧表」ファイルを県へメール送信

## (3) 県の行動

### ① 県内施設被害状況把握

- ・市町村から送信された「f.市町村内施設被害状況一覧表」をアプリ機能で「h.県内施設被害状況一覧表」に読込む
- ・災害時情報共有システムのテンプレートと「h.県内施設被害状況一覧表」内容を照合

## ② 現状分析と対応方針検討

アプリ「h.県内施設被害状況一覧表」で表示された施設被害状況、支援内容を現状分析シートに転記し、県内被害状況、医療機関被害状況を福祉、医療、危機管理部門で共有し、避難、籠城支援の優先順位、支援方法を検討する。

(優先順位の目安)

- i 緊急支援 ; 建物が大規模半壊以上で緊急に施設外避難を要する場合の支援
- ii 重点支援 ; 建物が半壊以上でライフラインも消失し、かつ医療搬送が必要な傷病者が生じた施設への医療搬送・施設外避難支援と籠城支援
- iii 要支援調整 ; 建物は一部損壊状態もライフラインが消失し、施設機能維持が困難な施設に対する籠城支援

## 3 アプリ機能

D H-W ins 活用アプリは(株)Core社に下記機能が行える仕様として委託し制作

(施設編)

### a.施設被害状況チェックリスト

仕様 ; オフライン HTML

機能 ; 被害状況の入力とともに、b.施設被害一覧表、c.健康状態一覧表、  
d.要避難者一覧表、情報共有システム入力項目、施設行動方針を自動計算作成

(市町村・県編)

e.市町村内施設被害予測一覧表、f.市町村内施設被害状況一覧表、g.市町村内施設要避難者一覧表、h.県内施設被害状況一覧表、i.県内施設要避難者一覧表

仕様 ; Microsoft Excell(VBA)®

機能 ; 施設、市町村から送付された被害報告等のCSVファイルを自動読込



## Ⅱ D H-W ins 活用要領



# A) 施設編

## 1 情報区分

### 1 情報区分

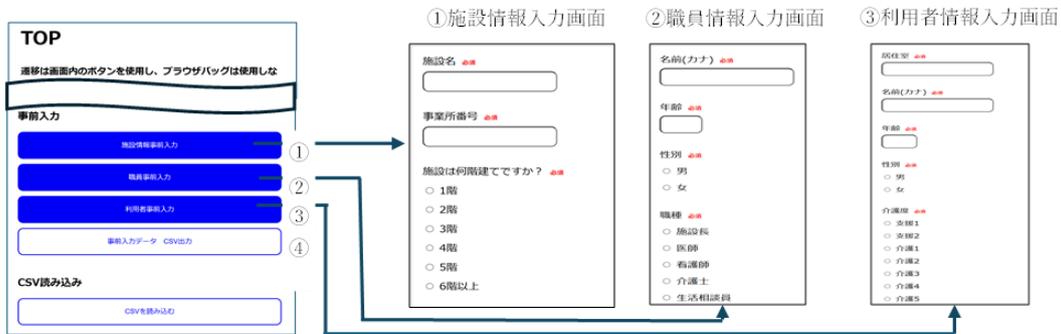
平時に把握できる施設情報等を「事前情報」、発災後緊急性があると判断される項目を「緊急情報」、準緊急性があると判断される項目を「詳細情報」と区分し、事前情報は平時に、緊急情報は発災直後に、詳細情報は発災直後から経時的に入力

#### (1) 事前入力

発災直後の対応は施設職員も多忙となることから、日常で把握できる建物構造、職員、利用者の情報は事前に入力

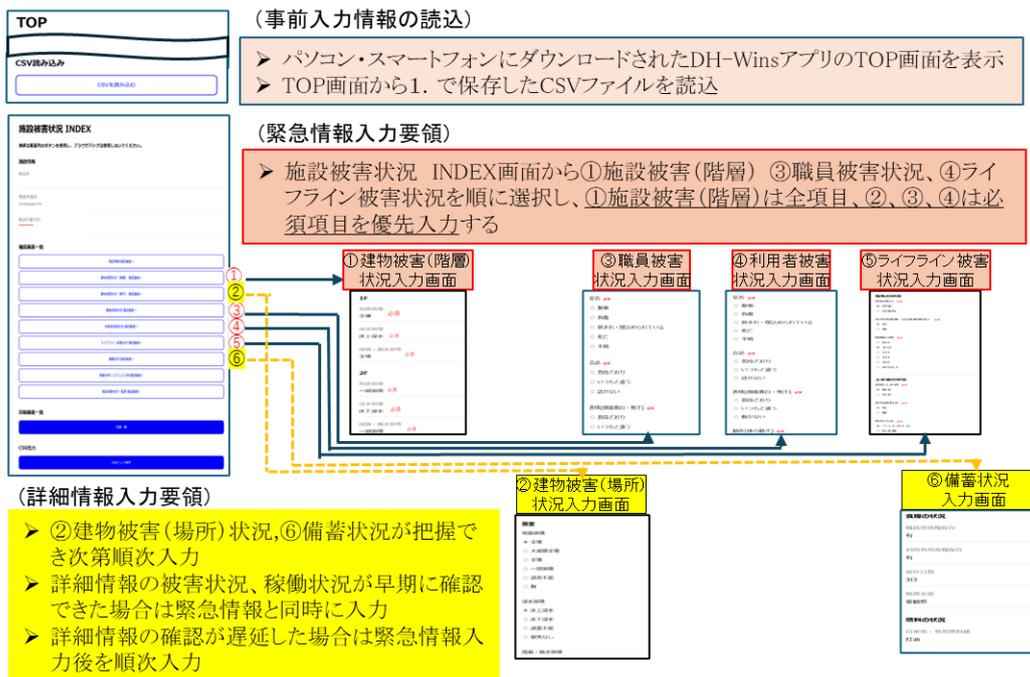
#### (入力要領)

- ▶ パソコン・スマートフォンにダウンロードされたDH-WinsアプリのTOP画面を表示
- ▶ TOP画面から①施設情報、②職員情報、③利用者情報を順に選択し、表示された画面から平時に把握できる情報を選択入力
- ▶ 入力完了後④事前入力データ CSV出力を選択し、入力した項目をCSVに変化してPC、スマートフォンに保存



#### (2) 緊急情報と詳細情報

建物被害、人的被害から緊急支援が必要となる関連情報は緊急情報として優先入力し、ライフライン、物品支援等施設機能維持を求めるものは詳細入力とし、詳細入力まで集計できない場合は緊急情報を優先集計し、市町村へ伝達する。



## 2 入力要領と評価基準

### (1) 建物被害状況(階層)

地震による建物損壊状況、津波・洪水による建物損壊状況は緊急支援の判断基準となるため、建物被害状況(階層)は必須入力とする。

(手順)

- ・各階の視認可能な場所の確認を行い、地震損壊、津波浸水、雨漏り・漏水被害をアプリに入力
- ・建物損壊、浸水・漏水により危険度が高く、確認ができない場合は調査不能と入力

#### ① 入力要領

##### a. 地震損壊

(確認項目)

壁・天井・床面が剥離、落下、陥没、傾斜等により、居住空間として使用できない損壊場所、または余震により損壊の恐れがある損壊場所の比率を各階ごとに確認

(入力方法)

各階の損壊規模を表1評価基準に基づき選択入力

**選択項目； 全壊 ・ 大規模半壊 ・ 半壊 ・ 一部損壊 ・ 調査不能 ・ 無**

(表1 損壊規模評価)

評価	全壊	大規模半壊	半壊	一部損壊
損壊規模	70%以上	70%未満 50%以上	50%未満 10%以上	10%未満

##### b. 浸水損壊

各階の浸水状況を確認し、選択入力

**選択項目； 床上浸水 ・ 床下浸水 ・ 調査不能 ・ 被害なし**

##### c. 雨漏り・漏水損壊

(確認項目)

各階の雨漏り、スプリンクラー等による漏水で床上浸水し、居住空間として使用できない損壊場所の比率を各階ごとに確認

(入力方法)

各階の損壊規模を表1評価基準に基づき選択入力

**選択項目； 全壊 ・ 大規模半壊 ・ 半壊 ・ 一部損壊 ・ 調査不能 ・ 無**

#### ② 評価基準

アプリ機能により(2)-①入力項目データに基づき次の評価基準に基づき算定

##### a. 地震損壊規模

調査不能は全壊とし、損壊比率を自動計算し損壊規模を表1に基づき表示

**【損壊比率計算】**

$(\text{全壊階数} \times 0.7 + \text{大規模半壊階数} \times 0.5 + \text{半壊階数} \times 0.1 + \text{一部損壊階数} \times 0.01) / \text{建物階数}$

##### b. 浸水損壊規模

調査不能は床上浸水とし、損壊比率を(床上浸水階数/建物階数)で自動計算し、損壊規模を表1に基づき表示

##### c. 雨漏り・漏水損壊規模

a.地震損壊規模 と同じ

#### ③ 被害規模

「災害時情報共有システム」報告項目の被害規模は2-(1)~(3)データから自動算定

重大な被害有り	半壊以上の被害階が1以上ある場合
軽微な被害有り	半壊以上の被害階がなく一部損壊の階がある場合
被害なし	一部損壊階以上の階がない場合

## 2 入力要領と評価基準

### (1) 建物被害状況(場所) 詳細情報

施設共有場所の確認を行い、地震損壊、津波浸水、雨漏り・漏水被害をアプリに入力する。  
施設内避難場所、避難経路、食事・排泄等の業務継続判定時に参照する。

#### ① 入力要領

##### a. 地震損壊 ・ 雨漏・漏水損壊

(確認場所)

居室、食堂、トイレ、事務室、避難階段、エレベーター

(確認項目)

壁・天井・床面が剥離、落下、陥没、傾斜等により、居住・避難場所として使用できない損壊場所、または余震により損壊の恐れがある損壊場所を確認

##### b. 浸水損壊

(確認場所)

居室、食堂、トイレ、事務室、避難階段、エレベーター

(確認項目)

各階の浸水状況を確認し、選択入力

選択項目； 床上浸水 ・ 床下浸水 ・ 調査不能 ・ 被害なし

#### ② 評価基準

各場所の損壊評価を評価基準に基づき選択

評価目安： 居住・避難利用不可能数/全体数

選択項目； 全壊 ・ 大規模半壊 ・ 半壊 ・ 一部損壊 ・ 調査不能 ・ 無

(表1 損壊規模評価)

評価	全壊	大規模半壊	半壊	一部損壊
損壊規模	70%以上	70%未満 50%以上	50%未満 10%以上	10%未満

## 2 入力要領と評価基準

### (2) 職員被害状況

#### ① 入力要領

##### a. 事前(平時)入力

事前に職員の氏名、年齢、性別、職種を入力

##### 【入力方法】

項目	入力方法	入力内容								
氏名	カナ入力									
年齢	数値入力									
性別	選択入力	男	女							
職種	選択入力	施設長	医師	看護師	介護士	生活相談員	理学療法士	厨房職員	事務員	その他

##### b. 発災後(緊急情報)入力

##### 【安否確認】

職員の勤務、安否状況を確認し職員被害状況を入力

項目	入力方法	入力内容				
勤務	選択入力	勤務(常勤)	不在(常勤)	勤務(非常勤)	不在(非常勤)	
安否	選択入力	無事	負傷	挟まれている 閉じ込められている	死亡	不明

##### 【生理学的評価】

職員の生理学的評価は迅速に判断するため、呼吸、表情、動作、会話がいつもと違うかで判定評価内容が「普段どおり」以外の評価項目の場合は優先的に入力

項目	入力方法	評価内容		
会話	選択入力	普段どおり	いつもと違う	話せない
表情(顔面蒼白・発汗)	選択入力	普段どおり	いつもと違う	動かない
動作(体の動き)	選択入力	普段どおり	いつもと違う	動かない
呼吸	選択入力	普段どおり	いつもと違う	していない
出血	選択入力	無	じわじわと出血or 止まっている	ピューピューと出血

##### c. 発災以降(詳細情報)入力

##### 【勤務可能職員】

帰宅希望、出勤可能かを確認し、職員被害状況を入力

項目	入力方法	入力内容				
帰宅希望	選択入力	帰りたい	帰れない	帰らない	出勤する	出勤できない

##### 【一時移動場所】

要避難者を一時的に移動させた場所を手入力、移動させない場合は居室を入力

##### 【避難先(選択入力)】

要避難者の避難先が確定した場合、避難場所を選択入力

(選択項目)

調整中、施設建物内、施設敷地内、医療機関、直近建物、近隣施設・避難所、  
県内施設・避難所、隣接県、広域

## 2 入力要領と評価基準

### (2) 職員被害状況

#### ② 評価基準

アプリ機能により(2)-①入力項目データに基づき次の評価基準に基づき算定

##### a. 重症度判定

- ・ 生理学的評価入力項目を表2に基づき重症度を赤、黄、緑と評価
- ・ 生理学的重症度赤を医療搬送対象とし、職員被害一覧表に反映(表2 重症度判定)

重症度	生理学的評価	医療搬送
赤(重症)	会話・表情・動作・呼吸とも”いつもと違う” 表情・呼吸=”いつもと違う”&出血”ビュービュー”	◎
黄(中等症)	赤、緑、白以外	
緑(軽症)	会話・表情・動作・呼吸とも”普段どおり”& じわじわ出血	
黒	会話・動作・呼吸とも”話せない、動かない、していない”	
白	会話・表情・動作・呼吸とも”普段どおり”	

##### b. 勤務可能者

重症度、帰宅希望、生理学的評価から今後の勤務可能かを判定し、職員一覧表に表示

勤務	選択内容
可能	重症度=“赤”, “黒” or 帰宅希望=“帰りたい”, “出勤できない” or 動作(体の動き)=“動かない”
不可能	上記以外

##### c. 要避難種別

要医療、建物被害一覧損壊規模から避難種別を選定し、職員一覧表に表示

要避難種別	選択内容
医療避難	◎
施設外避難	建物損壊が“全壊”または“大規模半壊”の場合
施設内避難	建物損壊が“半壊”、“一部損壊”の場合

##### d. 要人的支援数

- ・ 職員職種、安否確認状況、勤務可能数を集計、勤務可能職員数-発災前職員数にて職種別の人的支援数を算定(表3)
- ・ 算定結果は災害時情報共有システム入力項目に反映(表3 人的支援算定例)

職種	発災前 職員数	発災後 安否各員職員数	発災後 勤務可能職員数	比率	人的支援数
全職員数	10	10	9	90.0%	1
施設長	1	1	1	100%	0
医師	1	1	1	100.0%	0
看護師	2	2	1	50.0%	1
介護士	3	3	3	100.0%	0
生活相談員	1	1	1	100.0%	0
理学療法士	0	0	0	-	0
厨房職員	0	0	0	-	0
事務員	1	1	1	100.0%	0
その他	1	1	1	100.0%	0

##### e. 情報共有システム、施設被害状況一覧報告

###### 【人的被害】

安否確認、重症度、要医療、今後の勤務、職員状況から職員の人的被害数、負傷者数、重症者数、軽症者数、死亡者数、要医療者数、行方不明者数、在勤者数、勤務可能者数、要支援看護職数、要支援介護職数、要支援その他数を集計

###### 【避難者数】

要避難者種別数を集計

## 2 入力要領と評価基準

### (3) 利用者被害状況

#### ① 入力要領

##### a. 事前(平時)入力

事前に利用者の居室、氏名、年齢、性別、介護度、在宅医療を入力

##### 【入力方法】

	入力方法	入力内容						
居室	手動	通常入所している居室名を記載						
氏名	カナ入力							
年齢	数値入力							
性別	選択入力	男	女					
介護度	選択入力	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5
在宅医療	選択入力	人工呼吸器	透析	酸素	喀痰吸引	インスリン投与	経管栄養	中心静脈栄養

##### b. 発災後(緊急情報)入力

##### 【安否確認】

安否状況を確認し入力

項目	入力方法	入力内容				
安否	選択入力	無事	負傷	挟まれている 閉じ込められている	死亡	不明

##### 【生理学的評価】

- ・ 職員の生理学的評価は迅速に判断するため呼吸、表情、動作、会話がいつもと違うかで判定
- ・ 評価内容が「普段どおり」以外の評価項目の場合は優先的に入力

項目	入力方法	評価内容		
会話	選択入力	普段どおり	いつもと違う	話せない
表情(顔面蒼白・発汗)	選択入力	普段どおり	いつもと違う	動かない
動作(体の動き)	選択入力	普段どおり	いつもと違う	動かない
呼吸	選択入力	普段どおり	いつもと違う	していない
出血	選択入力	無	じわじわと出血or 止まっている	ピューピューと出血

##### c. 発災以降(詳細情報)入力

利用者の所在を把握するため、移動場所・避難先を入力

##### 【一時移動場所】

要避難者を一時的に移動させた場所を手入力、移動させない場合は居室を入力

##### 【避難先(選択入力)】

要避難者の避難先が確定した場合、避難場所を選択入力

(選択項目)

調整中、施設建物内、施設敷地内、医療機関、直近建物、近隣施設・避難所、  
県内施設・避難所、隣接県、広域

## 2 入力要領と評価基準

### (3) 利用者被害状況

#### ② 評価基準

アプリ機能により(3)-①入力項目データに基づき次の評価基準に基づき算定

##### 【重症度判定】

生理学的評価入力項目を表2に基づき重症度を赤、黄、緑と評価  
(表2 重症度判定)

重症度	生理学的評価
赤(重症)	会話・表情・動作・呼吸とも”いつもと違う” 表情・呼吸=”いつもと違う”&出血”ビュービュー”
黄(中等症)	赤、緑、白以外
緑(軽症)	会話・表情・動作・呼吸とも”普段どおり”& じわじわ出血
黒	会話・動作・呼吸とも”話せない、動かない、していない”
白	会話・表情・動作・呼吸とも”普段どおり”

##### 【医療搬送分類】

生理学的評価に在宅医療内容を加味し、医療搬送を緊急搬送・要医療搬送と分類し、利用者一覧に反映

◎緊急搬送 = 重症度“赤”もしくは在宅医療“人工呼吸器装着者”

○要医療搬送 = 重症度“黄”かつ“在宅医療継続者”

##### 【要避難種別】

要医療、建物被害一覧損壊規模から避難種別を選定し、利用者一覧表に表示

要避難種別	選択内容
医療避難	◎
施設外避難	建物損壊が“全壊”または“大規模半壊”の場合
施設内避難	建物損壊が“半壊”、“一部損壊”の場合

#### ③ 情報共有システム、施設被害状況一覧報告

##### 【人的被害】

安否確認、重症度、要医療、今後の勤務、職員状況から職員の人的被害数、負傷者数、重症者数、軽症者数、死亡者数、要医療者数、行方不明者数、在勤者数、勤務可能者数、要支援看護職数、要支援介護職数、要支援その他数を集計

##### 【避難者数】

要避難者種別数を集計

## 2 入力要領と評価基準

### (4) ライフライン被害状況

#### ① 入力要領

下表 入力項目と方法により緊急情報、詳細情報を入力

##### a. 緊急情報(■項目を必須入力)

- ・ライフライン供給機関からの供給電力、供給上(下)水道の状況を選択入力
- ・固定電話・携帯電話、災害用通信機器(衛星携帯電話、防災無線、MCA無線等市町村と通信可能な機器)、インターネットの通信状況を選択入力

##### b. 詳細情報

稼働状況、保有状況を確認後入力

(入力項目と方法)

項目		入力方法	選択項目					
電気の状況	供給電力	選択	停電	送電有				
	非常用電源(自家発電等)	選択	有	無				
	稼働日数	選択	0日	半日	1日	2日	3日	4日以上
上水道の状況	供給上水道	選択	断水	送水				
	保有飲料水	選択	有	無				
	保有方法	選択	ペットボトル	貯水槽	井戸水			
	飲料数保有日数	選択	0日	半日	1日	2日	3日	4日以上
下水道の状況	供給下水道	選択	断水	送水				
	保有生活用水	選択	有	無				
	保有方法	選択	貯水槽	井戸水				
	生活用水保有日数	選択	0日	半日	1日	2日	3日	4日以上
ガスの状況	供給ガス	選択	なし	あり				
	代替えガス設備	選択	なし	あり				
通信の状況	固定電話・携帯電話	選択	通信可	通信不可				
	災害用通信機器 (衛星電話、防災無線、MCA無線)	選択	通信可	通信不可				
	インターネット	通信可	通信可	通信不可				
	通信可能電話番号	数値入力	数値入力					
	使用可能メールアドレス	英数字記号入力						

#### ② 評価基準

##### a. 支援優先順位

上記入力内容項目を評価基準に基づき算定し、支援優先順位をライフライン被害状況一覧に表示(評価基準)

区分	重点支援(優先的支援)	要支援調整(支援準備)	要観察(経過観察)	支援不要(当面支援無)
	本日分の確保にも支障	2~3日しかなく、その後の確保見通しなし	当面はある	十分ある
電力支援	停電、自家発電稼働日数≦半日	停電、自家発電稼働日数≦2日	停電、自家発電稼働日数=3日	停電、自家発電稼働日数≧4日
上水道支援	断水、飲料水保有日数≦半日	断水、飲料水保有日数≦2日	断水、飲料水保有日数=3日	断水、飲料水保有日数≧4日
生活用水支援	断水、自家発電稼働日数≦半日	断水、生活用水保有日数≦2日	断水、生活用水保有日数=3日	断水、生活用水保有日数≧4日

##### b. 報告様式への反映

###### 1) 災害時情報共有システム

電気、飲料水、生活用水、ガスの状況入力データを情報共有システム入力項目に反映

###### 2) 施設被害状況

すべての入力データを反映

## 2 入力要領と評価基準

### (5) 備蓄状況

#### ① 入力要領

食糧、燃料の保存状況、冷暖房機能、トイレ機能の確認後、該当内容を選択入力

項目		入力方法	■ 選択項目					
食糧の状況	職員用食糧保存	選択入力	有	無				
	利用者用食糧保存	選択入力	有	無				
	保存日数	選択入力	0日	半日	1日	2日	3日	4日以上
燃料の状況	自家発・発発燃料種	選択入力	A重油	軽油	灯油	ガソリン	蓄電池	LPガス
	稼働日数	選択入力	0日	半日	1日	2日	3日	4日以上
	冷暖房燃料種	選択入力	軽油	灯油	蓄電池	LPガス		
	燃料保有日数	選択入力	0日	半日	1日	2日	3日	4日以上
冷房	常設冷房装置使用	選択入力	可能	不可				
	代替え冷房機	選択入力	有	無				
	代替え冷房機種	選択入力	スポットクーラー	扇風機				
暖房	常設暖房装置使用	選択入力	可	不可				
	代替え暖房機	選択入力	有	無				
	代替え暖房機種	選択入力	石油ストーブ	ファンヒーター	薪ストーブ	木炭ストーブ	いろいろ	
トイレ	常設トイレ使用	選択入力	可能	不可				
	代替え(簡易トイレ)	選択入力	有(充足)	有(不足)	無			
	代替え(おむつ)	選択入力	有(充足)	有(不足)	無			

#### ② 評価基準

##### a. 支援優先順位

食糧、燃料の支援優先順位を評価基準に基づき算定  
(評価基準)

区分	重点支援(優先的支援)	要支援調整(支援準備)	要観察(経過観察)	支援不要(当面支援無)
	本日の確保にも支障	2~3日しかなく、その後の確保見通しなし	当面はある	十分ある
食糧支援	食糧保有日数≦半日	食糧保有日数≦2日	食糧保有日数=3日	食糧保有日数≧4日
燃料支援	自家発稼働日数≦半日	自家発稼働日数≦2日	自家発稼働日数=3日	自家発稼働日数≧4日

##### b. 生活必需器材の稼働

代替え機器の有無により冷房・暖房・トイレ使用が可能かを算定

区分	使用可能	使用不可
冷房機能	常設使用不可、代替有	常設使用不可、代替無
暖房機能		
トイレ機能		

#### ③ 報告様式への反映

備蓄状況は災害時情報共有システム、施設被害状況にすべて反映

### 3 情報伝達(被害状況報告)

#### (1) 災害時情報共有システムによる報告

災害時情報共有システム報告項目のうち必須項目を入力し、国・県へ報告

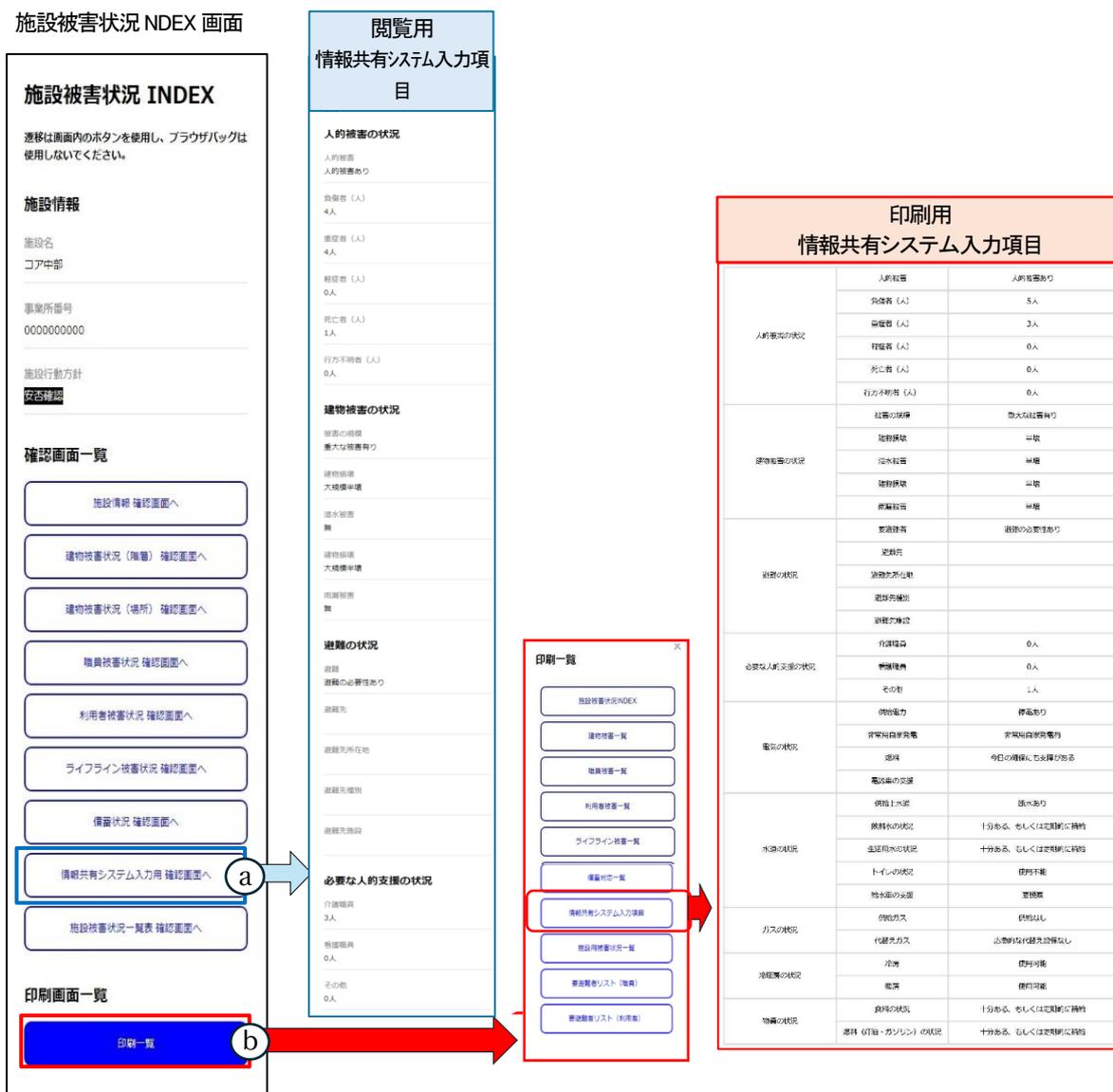
##### ① 報告手段

インターネット

##### ② 報告内容

アプリ機能で算定し、「情報共有システム入力項目」表示

- 施設被害状況 INDEX 画面の「情報共有システム入力確認画面」をクリックして報告内容を表示
- 施設被害状況 INDEX 画面の「印刷一覧」「情報共有システム入力項目」をクリックして報告内容を印刷し確認





### 3 情報伝達(被害状況報告)

#### (2) 衛星携帯電話、防災無線等による音声通話

施設被害状況報告は災害時情報共有システム報告内容に市町村・県が効果的の支援を行うに必要な情報を含めているため、伝達可能な方法により、市町村に報告する。

##### ① 報告手段

メール、音声通信、伝令

##### ② 伝達方法

##### a メール・伝令伝達

「施設被害状況一覧 INDEX 画面」の CSV 出力をクリックし、作成された CSV を PC,スマートフォン内フォルダに保存

### 施設被害状況 INDEX

遷移は画面内のボタンを使用し、ブラウザバック使用しないでください。

#### 確認画面一覧

- 施設情報 確認画面へ
- 建物被害状況 (階層) 確認画面へ
- 建物被害状況 (場所) 確認画面へ
- 職員被害状況 確認画面へ
- 利用者被害状況 確認画面へ
- ライフライン被害状況 確認画面へ
- 備蓄状況 確認画面へ
- 情報共有システム入力用 確認画面へ
- 施設被害状況一覧表 確認画面へ

#### 印刷画面一覧

- 印刷一覧

#### CSV出力

- CSVとして保存

PC (Windows)

スマートフォン (Android)

##### ➤ メール送信

保存された CSV ファイルをメール添付し市町村に送信

(インフラ断絶時対応機器)  
高速衛星通信、固定・可搬式衛星電話

##### ➤ 伝令

CSV ファイルが保存されたデータカードを市町村に持参

##### b 音声伝達

- ・ 「施設被害状況一覧 INDEX 画面」から「施設被害状況確認画面」をクリックして報告内容表示
- ・ 音声にて市町村に読上げ伝達

施設被害状況一覧表	施設被害状況	必要な人的資源の状況	物資	方丈の状況
報告者番号 2375600273	利用の状況 利用状況 0	必要人員数 1	飲料 0	利用状況 なし
施設名 施設管理員チームやまのぼの甲	利用の状況 0	必要物資 0	電力 0	利用状況 なし
報告者 7	利用の状況 0	必要物資 0	水道の状況 0	利用状況 なし
人的被害の状況 人的被害 4	利用の状況 0	必要物資 0	冷暖房の状況 0	利用状況 なし
内部員 5	利用の状況 0	必要物資 0	照明の状況 0	利用状況 なし
外部員 3	利用の状況 0	必要物資 0	衛生の状況 0	利用状況 なし
関係者 0	利用の状況 0	必要物資 0	清掃の状況 0	利用状況 なし
死亡者 0	利用の状況 0	必要物資 0	その他 0	利用状況 なし
行方不明者 0	利用の状況 0	必要物資 0	その他 0	利用状況 なし
その他被害 4	利用の状況 0	必要物資 0	その他 0	利用状況 なし

(インフラ断絶時対応機器)

- ・ 高速衛星通信(IP 電話)
- ・ 固定・可搬式・携帯衛星電話
- ・ 防災無線
- ・ MCA 無線

## 4 現状分析と対応

被害状況確認、緊急情報伝達終了後、災害対策本部で現状分析シート(後頁)を活用し、現状の被害状況、役割分担を職員で共有し、対応策を検討する。

分析シートの記載・検討は緊急性のあるものから記載・検討し、詳細情報は確定次第追記し、新たに対応策を検討する。

### (1) 被害状況の集計

D H-W ins アプリ被害状況 INDEX から印刷→施設被害状況一覧をクリックし、「施設被害状況一覧表」を印刷、もしくは印刷画面から現状分析シートに転記する。

### (2) 具体的被害状況の共有

分析シート転記事項の他、対応方針の検討に必要な情報はアプリ印刷一覧から下記項目を選択し、印刷もしくは印刷画面閲覧で共有

- 建物被害状況(階層)
- 建物被害状況(場所)
- 職員被害状況
- 利用者被害状況

### (3) 検討事項

#### ① 施設行動方針の確認

アプリ表示の行動方針を参考に、実際の施設機能、職員・利用者被災状況から災害対策本部長が行動方針を最終決定する。

(アプリ表示行動方針)

黒 安否確認	建物全体が倒壊・浸水し在所者の安否確認が必要な施設
紫 全員避難	倒壊、浸水、雨漏・漏水で建物損壊が大規模半壊以上の施設
赤 籠城避難	籠城可能で要医療者が発生した施設
黄 籠 城	籠城可能も物資支援が必要な施設
緑 警 戒	人的・物的被害が少なく当面は施設機能が維持される施設
白	機能維持もしくは未入力

## 4 現状分析と対応

### ② 避難者対応

#### a. 施設内避難場所の選定

- ・アプリ「建物被害状況(階層)」「建物被害状況(場所)」印刷画面を参照し、避難経路が確保かつ被災していない場所を選定
- ・アプリ「職員被害状況一覧」「利用者被害状況一覧」に各避難者の避難先を入力

#### b. 避難方法

- ・アプリ印刷一覧「利用者被害状況」印刷画面に表示される利用者一覧表示項目の介護度をもとに担送(担架搬送)、護送(車いす)、介助避難(歩行)を選別し、避難経路を確認
- ・担送、護送、介助避難担当者を割り振りし、保有必要資機材確認のうえ避難順位を検討

【報告内容】		避難者数	
利用者総数	5	総計	5
人的被害	3	医療避難	4
負傷者	4	施設外避難	0
搬送者	2	施設内避難	1
軽症者	0		
軽症療養者	4		
死亡者	0		
行方不明者	0		

居住票	氏名	年齢	性別	介護度	職歴	安否	命懸	要領 (顔面蒼白・発汗)	動作 (体の動き)	呼吸	出血	搬送	要緊	要緊	要緊	一時避難場所	避難先
1	リ ヨウシ ョ (P1)	82	男	介護 4	経営者	負傷	いつもと痛う	階段どおり	いつもと痛う	いつもと痛う	無	真	○	医療避難	3階フロア	施設建物内	
3	リ ヨウシ ョ (P3)	88	男	介護 3	看護係	無事	階段どおり	階段どおり	いつもと痛う	いつもと痛う	無	真	○	医療避難	3階フロア	施設建物内	
4	リ ヨウシ ョ (P4)	90	男	介護 3	経営者	負傷	いつもと痛う	いつもと痛う	いつもと痛う	いつもと痛う	無	赤	○	医療避難	3階フロア	調整中	
5	リ ヨウシ ョ (P5)	92	男	介護 4	経営者	負傷	いつもと痛う	いつもと痛う	いつもと痛う	いつもと痛う	無	赤	○	医療避難	3階フロア	施設建物内	
6	リ ヨウシ ョ (P6)	99	女	介護 3	経営者	無事	階段どおり	階段どおり	いつもと痛う	いつもと痛う	無	白	-	施設外避難	3階フロア	調整中	

### ③ 緊急時職員の対応

避難者多数の場合は避難介助を優先とする。

### ④ 介助サービス

食事介助は継続し、利用者の健康状態に応じ他の介助は代替え縮小または中止する。

### ⑤ 物品

アプリ「ライフライン被害状況一覧」、「備蓄対応状況一覧」に“重点支援”が表示された物品の補給支援を市町村に請求する。

### ⑥ 勤務編成と応援要請

アプリ印刷一覧「職員被害状況」印刷画面に表示される「職員の状況」を確認し、確認者で今後の勤務編成を行い、必要人的支援に過不足があれば市町村に再要請する。

【報告内容】		【職員状況】							避難者数	
人的被害	1	職歴	職歴	職歴	職歴	比率	人的被害数	総計	2	
負傷者	1	全社員数	2	2	1	50.0%	1	医療避難	0	
搬送者	1	施設内	1	1	0	0.0%	1	施設外避難	0	
軽症者	0	医師	0	0	0	-	0			
死亡者	0	看護士	0	0	0	-	0			
軽症療養者	0	介護士	1	1	1	100.0%	0			
行方不明者	0	生空相談員	0	0	0	-	0			
在職者	2	理学療法士	0	0	0	-	0			
勤務可能者	1	医師候補	0	0	0	-	0			
緊急要請者	0	事務員	0	0	0	-	0			
緊急要請その他	1	その他	0	0	0	-	0			

氏名	年齢	性別	職歴	職歴	安否	命懸	要領 (顔面蒼白・発汗)	動作 (体の動き)	呼吸	出血	搬送	要緊	要緊	要緊	一時避難場所	避難先	
カン リン	55	男	施設長	勤務 (夜勤)	負傷	怪けなし	動かない	動かない	いつもと痛う	じりじり出血or止血テープ貼る	怪けなし	真	-	不可	施設外避難	2階フロア	調整中
カン ゴウ	44	女	介護士	勤務 (夜勤)	無事	階段どおり	階段どおり	階段どおり	階段どおり	無	怪けなし	白	-	可能	施設内避難	3階フロア	調整中

### (4) 要避難者一覧表の作成送付

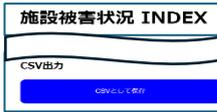
医療搬送、施設外搬送者の一覧を作成する。(本目5 要避難者一覧表参照)

## 4 現状分析と対応

### 現状分析と方針シート

本部設置・役割分担	本部長						
	被害状況確認者	建物被害					
		職員被害					
		利用者被害					
		ライフライン					
		通信機能確認					
	記録	被害状況入力					
		集計					
	連絡員	通信連絡					
		伝令					
利用者対応者							
物品対応							
被害状況確認	建物被害階 (該当階)		全壊・大規模半壊 ( )	半壊 ( )	一部損壊 ( )	損壊無し ( )	
	浸水被害階 (該当階)		床上浸水 ( )	床下浸水 ( )		損壊無し ( )	
	雨漏・漏水被害階 (該当階)		全壊・大規模半壊 ( )	半壊 ( )	一部損壊 ( )	損壊無し ( )	
	職員被害状況	在所者数	人	勤務可能者		人	
		要医療搬送	人	要施設外搬送		人	
	利用者被害状況	在所者数	人				
		要医療搬送	人	要施設外搬送		人	
	ライフライン	電 気	停電・通電	備蓄対応	自家発・発電・蓄電池	稼働日数( 日)	
		飲料水	断水・断水無	備蓄対応	ペットボトル・井戸・貯水	稼働日数( 日)	
		生活用水	断水・断水無	備蓄対応	井戸・貯水・	稼働日数( 日)	
		食料	流動食・固定食			稼働日数( 日)	
	情報伝達	通信機器	使用可能機器	固定電話・携帯電話・防災無線・MCA無線・アマチュア無線			
				衛星携帯電話・高速衛星通信・その他( )			
伝達方法		音声連絡・メール送信・情報共有システム活用・SOS表記・伝令					
方針	施設行動方針		全員避難・籠城避難・籠城・警戒				
	避難	避難者選定	垂直 人	水平施設内 人	1次避難場所 人	2次避難場所 人	
		避難先確保					
		避難者方法	担送 人	護送 人	介添 人	自力 人	
		医療搬送者	赤 人	黄 人	緑 人	黒 人	
	介助	食事介助	通常継続・流動食のみ・中止				
		排泄介助	通常継続・オムツ代替え・中止				
		入浴介助	通常継続・清拭・中止				
	物品補給	オーダー品					
		納品方法					
納品先							

## 5 要避難者一覧表



緊急情報入力完了後、施設被害状況 INDEX 下段にある CSV 出力をクリックし、アプリ入力データを PC、スマートフォン内フォルダに一次的に保存

### (1) 要避難者一覧表

① CSV 保存した施設被害状況報告一覧を開く。



② 施設被害状況一覧に表示されている職員被害状況、利用者被害状況からアプリ機能で「医療避難」「施設外避難」者がリスト化された「要避難者一覧表(職員)」「要避難者一覧表(利用者)」を別シートにコピーペーストし、事業所番号を追記する。

事業所番号	名前(カナ)	年齢	性別	介護度	継続医療	安否	会話	表情(顔面蒼白)	動作(体の動き)	呼吸	出血	重症度	要医療	要避難種別	一時移動場所	避難先
2397500071	リヨウシャ1	82	男	介護4	経管栄養	不明	普段どおり	普段どおり	普段どおり	無	白	-	施設外避難	行方不明		調整中
2397500071	リヨウシャ2	85	女	介護3	なし	負傷	普段どおり	普段どおり	いつもと違う	無	黄	-	施設外避難	緊急避難場所へ近隣施設	避難所	
2397500071	リヨウシャ3	88	男	介護3	喀痰吸引	無事	普段どおり	普段どおり	いつもと違う	無	黄	○	医療避難	緊急避難場所へ近隣施設	避難所	
2397500071	リヨウシャ4	90	女	介護5	経管栄養	無事	いつもと違う	いつもと違う	普段どおり	いつもと違う	無	黄	○	医療避難	緊急避難場所へ近隣施設	避難所

・ 要避難者一覧表を CSV ファイルに変換し、市町村へメールまたは音声で伝達

### (2) 健康状態一覧表

#### ① 施設被害状況報告 CSV からの作成

- 施設被害状況一覧に表示されている利用者被害状況「利用者被害状況一覧」を別シートにコピーペーストし作成
- 施設管理上不足項目があれば追記し、CSV 保存するとともに職員間で共有

居住室	名前(カナ)	年齢	性別	介護度	継続医療	安否	会話	表情(顔面蒼白・発汗)	動作(体の動き)	呼吸	出血	一時移動場所	避難先
301	リ ヨウシャ (や1)	82	男	介護4	経管栄養	負傷	いつもと違う	普段どおり	いつもと違う	いつもと違う	無	301	調整中
303	リ ヨウシャ (や3)	88	男	介護3	喀痰吸引	無事	普段どおり	普段どおり	普段どおり	いつもと違う	無	303	調整中
304	リ ヨウシャ (や4)	90	女	介護3	経管栄養	負傷	いつもと違う	いつもと違う	いつもと違う	いつもと違う	無	304	調整中
305	リ ヨウシャ (や5)	92	男	介護4	酸素	負傷	いつもと違う	いつもと違う	いつもと違う	いつもと違う	無	305	調整中
306	リ ヨウシャ (や6)	99	女	介護3	酸素	無事	普段どおり	普段どおり	普段どおり	普段どおり	無	306	調整中
201	りょうしゃ6	88	男	介護3	なし	無事	普段どおり	普段どおり	普段どおり	普段どおり	無	2階フロア	調整中
202	りょうしゃ7	90	女	介護4	なし	無事	普段どおり	いつもと違う	普段どおり	普段どおり	無	2階フロア	調整中
201	りょうしゃ8	88	女	介護4	なし	挟まれ・閉込められている	いつもと違う	いつもと違う	いつもと違う	いつもと違う	無	301	調整中
203	りょうしゃ9	87	女	介護5	なし	負傷	話せない	動かない	動かない	していない	無	303	調整中
305	りょうしゃ9	94	女	介護4	なし	無事	いつもと違う	いつもと違う	普段どおり	いつもと違う	無	305	調整中

#### ② アプリ機能からの作成

INDEX→印刷→「利用者被害状況一覧」により印刷し共有

居住室	名前	年齢	性別	介護度	継続医療	安否	会話	表情(顔面蒼白・発汗)	動作(体の動き)	呼吸	出血	一時移動場所	避難先
301	リ ヨウシャ (や1)	82	男	介護4	経管栄養	負傷	いつもと違う	普段どおり	いつもと違う	いつもと違う	無	301	調整中
303	リ ヨウシャ (や3)	88	男	介護3	喀痰吸引	無事	普段どおり	普段どおり	普段どおり	いつもと違う	無	303	調整中
304	リ ヨウシャ (や4)	90	女	介護3	経管栄養	負傷	いつもと違う	いつもと違う	いつもと違う	いつもと違う	無	304	調整中
305	リ ヨウシャ (や5)	92	男	介護4	酸素	負傷	いつもと違う	いつもと違う	いつもと違う	いつもと違う	無	305	調整中
306	リ ヨウシャ (や6)	99	女	介護3	酸素	無事	普段どおり	普段どおり	普段どおり	普段どおり	無	306	調整中
201	りょうしゃ6	88	男	介護3	なし	無事	普段どおり	普段どおり	普段どおり	普段どおり	無	2階フロア	調整中
202	りょうしゃ7	90	女	介護4	なし	無事	普段どおり	いつもと違う	普段どおり	普段どおり	無	2階フロア	調整中
201	りょうしゃ8	88	女	介護4	なし	挟まれ・閉込められている	いつもと違う	いつもと違う	いつもと違う	いつもと違う	無	301	調整中
203	りょうしゃ9	87	女	介護5	なし	負傷	話せない	動かない	動かない	していない	無	303	調整中
305	りょうしゃ9	94	女	介護4	なし	無事	いつもと違う	いつもと違う	普段どおり	いつもと違う	無	305	調整中

## 6 事前の備え

海拔ゼロメートル地帯などの地域では南海トラフ地震等巨大地震による被害は揺れによる建物被害だけでなく、液状化危険度も高くなり、地盤沈下により津波浸水も湛水することから、停電・通信機能遮断を伴う孤立が長期化する恐れがあります。

そのため、早期に支援要請を行う必要がありますが、職員等が市町村等に出向き、直接支援要請を行うのは、施設周囲が湛水状態の中リスクが高く、停電・電話・インターネット遮断時に対応できる通信機器が必要となります。

また、長期湛水の中、即時避難も困難となることから、一定期間施設機能を維持できる備えが必要となります。

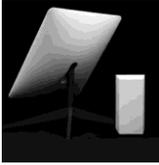
### (1) 推奨する災害時対応通信機器

- ・衛星通信（下表参照）、防災無線、MCA 無線
- ・通信機器用蓄電池

### (2) 衛星通信の機能比較

※各社仕様書引用作成

衛星通信 機 種	インマルサット		ワイドスターIII	イリジウム	
	IsatPhone Pro	EXPLORER		Iridium 9555	Iridium Extreme
衛星電話外観					
衛星区分	静止衛星		静止衛星	衛星星座レーション	
音声通話	○	○	○	○	○
FAX	×	○	△※1	×	×
データ通信可否	△※2	○	○	△※2	
速度上限（上り）	2.4kbps	448kbps	250kbps	2.4kbps	2.4kbps
同（下り）	2.4kbps	464kbps	1.5Mbps	2.4kbps	2.4kbps
設置条件	持ち運び	可能※3	可能だがアンテナ固定必要※4		可能
	アンテナ方向	南側（赤道上空）		南側（赤道上空）	
				直上（屋内使用不可）	

衛星通信 機 種	スターリンク	フレックスムープ Satcube	JSAT
	衛星電話外観		
衛星区分	衛星星座レーション	HTS衛星	静止衛星
電話※5	×	×	△※6
FAX	×	×	×
データ通信可否	◎	◎	◎
速度上限（上り）	200Mbps程度	20Mbps	25Mbps
同（下り）	200Mbps程度	6Mbps程度	220Mbps
設置条件	持ち運び	可能だがアンテナ固定必要	
	アンテナ方向	北	南

※1：別途専用機材購入が必要

※2：SMS（ショートメールサービス）程度の文字情報

※3：アンテナを赤道上空で確保する必要があるため屋内使用不可

※4：アンテナは屋外南向きに固定し受話器を屋内取り込み可能

※5：インターネット環境により別途IP電話を契約すれば番号取得可

※6：災害医療プランによるIP電話付帯契約可能

## 6 事前の備え

### (3) 推奨する備え

#### ① 被害減災策

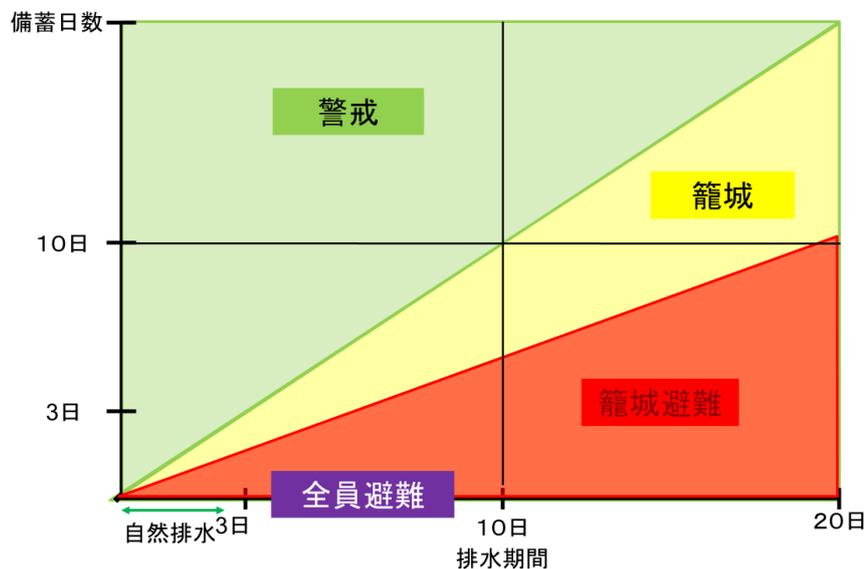
- 耐震化:1981年以前の建築物は耐震補強 耐震診断 1.0以上
- 事故防止;利用者活動範囲内の落下物防止、施設家財固定
- 止水対策;土嚢、止水板、盛土

#### ② 長期孤立対策

湛水期間と備蓄日数の相互関係による施設行動方針の目安を下図に示す。

- ・3日間分の備蓄では4日目以降物品支援を受け籠城するも、水が引く前に避難を併せて行う必要が生じてくる。
- ・10日間分の備蓄では物品支援を受ければ20日間ほどは施設機能を維持できる可能性がある。

### 湛水期間・備蓄日数と施設行動方針の目安



湛水期間と備蓄日数の相互関係をみれば、生活機能を維持するための備蓄品は10日分以上保有することが望ましい。

- 飲料水  
保有量; (利用者数+職員数) × 20 × 10 日
- 食糧(備蓄+流動食)  
保有量; (利用者数+職員数) × 1500kcal × 10 日
- 電気(自家発)  
種類; 太陽光電池、発動発電機、乾電池  
必要電力量; 平日使用電力量 × 0.6 × 10 日
- 非常用情報収集器材; ラジオ
- 夜間照明; ランタン、懐中電灯
- 冷暖房; スポットクーラー
- 寝具  
種類; 毛布・段ボール・寝袋・布団  
保有量; 避難者数 × 1 セット
- トイレ  
種類; 簡易トイレ、おむつ

# B) 市町村編

## 1 市町村内施設被害状況の予測

施設被害状況報告が速やかに行われない場合に備えて、各施設災害対応機能を事前に把握し、ハザードマップで照合しアプリ機能で被害予測一覧を作成し、支援見積をたてる。

事業所番号	市町村	施設名称	施設情報調査										施設被害予測										支援見積										支援方針																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
			1階	2階	3階	4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階	12階	13階	14階	15階	16階	17階	18階	19階	20階	21階	22階	23階	24階	25階	26階	27階	28階	29階	30階	31階	32階	33階	34階	35階	36階	37階	38階	39階	40階	41階	42階	43階	44階	45階	46階	47階	48階	49階	50階	51階	52階	53階	54階	55階	56階	57階	58階	59階	60階	61階	62階	63階	64階	65階	66階	67階	68階	69階	70階	71階	72階	73階	74階	75階	76階	77階	78階	79階	80階	81階	82階	83階	84階	85階	86階	87階	88階	89階	90階	91階	92階	93階	94階	95階	96階	97階	98階	99階	100階	101階	102階	103階	104階	105階	106階	107階	108階	109階	110階	111階	112階	113階	114階	115階	116階	117階	118階	119階	120階	121階	122階	123階	124階	125階	126階	127階	128階	129階	130階	131階	132階	133階	134階	135階	136階	137階	138階	139階	140階	141階	142階	143階	144階	145階	146階	147階	148階	149階	150階	151階	152階	153階	154階	155階	156階	157階	158階	159階	160階	161階	162階	163階	164階	165階	166階	167階	168階	169階	170階	171階	172階	173階	174階	175階	176階	177階	178階	179階	180階	181階	182階	183階	184階	185階	186階	187階	188階	189階	190階	191階	192階	193階	194階	195階	196階	197階	198階	199階	200階	201階	202階	203階	204階	205階	206階	207階	208階	209階	210階	211階	212階	213階	214階	215階	216階	217階	218階	219階	220階	221階	222階	223階	224階	225階	226階	227階	228階	229階	230階	231階	232階	233階	234階	235階	236階	237階	238階	239階	240階	241階	242階	243階	244階	245階	246階	247階	248階	249階	250階	251階	252階	253階	254階	255階	256階	257階	258階	259階	260階	261階	262階	263階	264階	265階	266階	267階	268階	269階	270階	271階	272階	273階	274階	275階	276階	277階	278階	279階	280階	281階	282階	283階	284階	285階	286階	287階	288階	289階	290階	291階	292階	293階	294階	295階	296階	297階	298階	299階	300階	301階	302階	303階	304階	305階	306階	307階	308階	309階	310階	311階	312階	313階	314階	315階	316階	317階	318階	319階	320階	321階	322階	323階	324階	325階	326階	327階	328階	329階	330階	331階	332階	333階	334階	335階	336階	337階	338階	339階	340階	341階	342階	343階	344階	345階	346階	347階	348階	349階	350階	351階	352階	353階	354階	355階	356階	357階	358階	359階	360階	361階	362階	363階	364階	365階	366階	367階	368階	369階	370階	371階	372階	373階	374階	375階	376階	377階	378階	379階	380階	381階	382階	383階	384階	385階	386階	387階	388階	389階	390階	391階	392階	393階	394階	395階	396階	397階	398階	399階	400階	401階	402階	403階	404階	405階	406階	407階	408階	409階	410階	411階	412階	413階	414階	415階	416階	417階	418階	419階	420階	421階	422階	423階	424階	425階	426階	427階	428階	429階	430階	431階	432階	433階	434階	435階	436階	437階	438階	439階	440階	441階	442階	443階	444階	445階	446階	447階	448階	449階	450階	451階	452階	453階	454階	455階	456階	457階	458階	459階	460階	461階	462階	463階	464階	465階	466階	467階	468階	469階	470階	471階	472階	473階	474階	475階	476階	477階	478階	479階	480階	481階	482階	483階	484階	485階	486階	487階	488階	489階	490階	491階	492階	493階	494階	495階	496階	497階	498階	499階	500階	501階	502階	503階	504階	505階	506階	507階	508階	509階	510階	511階	512階	513階	514階	515階	516階	517階	518階	519階	520階	521階	522階	523階	524階	525階	526階	527階	528階	529階	530階	531階	532階	533階	534階	535階	536階	537階	538階	539階	540階	541階	542階	543階	544階	545階	546階	547階	548階	549階	550階	551階	552階	553階	554階	555階	556階	557階	558階	559階	560階	561階	562階	563階	564階	565階	566階	567階	568階	569階	570階	571階	572階	573階	574階	575階	576階	577階	578階	579階	580階	581階	582階	583階	584階	585階	586階	587階	588階	589階	590階	591階	592階	593階	594階	595階	596階	597階	598階	599階	600階	601階	602階	603階	604階	605階	606階	607階	608階	609階	610階	611階	612階	613階	614階	615階	616階	617階	618階	619階	620階	621階	622階	623階	624階	625階	626階	627階	628階	629階	630階	631階	632階	633階	634階	635階	636階	637階	638階	639階	640階	641階	642階	643階	644階	645階	646階	647階	648階	649階	650階	651階	652階	653階	654階	655階	656階	657階	658階	659階	660階	661階	662階	663階	664階	665階	666階	667階	668階	669階	670階	671階	672階	673階	674階	675階	676階	677階	678階	679階	680階	681階	682階	683階	684階	685階	686階	687階	688階	689階	690階	691階	692階	693階	694階	695階	696階	697階	698階	699階	700階	701階	702階	703階	704階	705階	706階	707階	708階	709階	710階	711階	712階	713階	714階	715階	716階	717階	718階	719階	720階	721階	722階	723階	724階	725階	726階	727階	728階	729階	730階	731階	732階	733階	734階	735階	736階	737階	738階	739階	740階	741階	742階	743階	744階	745階	746階	747階	748階	749階	750階	751階	752階	753階	754階	755階	756階	757階	758階	759階	760階	761階	762階	763階	764階	765階	766階	767階	768階	769階	770階	771階	772階	773階	774階	775階	776階	777階	778階	779階	780階	781階	782階	783階	784階	785階	786階	787階	788階	789階	790階	791階	792階	793階	794階	795階	796階	797階	798階	799階	800階	801階	802階	803階	804階	805階	806階	807階	808階	809階	810階	811階	812階	813階	814階	815階	816階	817階	818階	819階	820階	821階	822階	823階	824階	825階	826階	827階	828階	829階	830階	831階	832階	833階	834階	835階	836階	837階	838階	839階	840階	841階	842階	843階	844階	845階	846階	847階	848階	849階	850階	851階	852階	853階	854階	855階	856階	857階	858階	859階	860階	861階	862階	863階	864階	865階	866階	867階	868階	869階	870階	871階	872階	873階	874階	875階	876階	877階	878階	879階	880階	881階	882階	883階	884階	885階	886階	887階	888階	889階	890階	891階	892階	893階	894階	895階	896階	897階	898階	899階	900階	901階	902階	903階	904階	905階	906階	907階	908階	909階	910階	911階	912階	913階	914階	915階	916階	917階	918階	919階	920階	921階	922階	923階	924階	925階	926階	927階	928階	929階	930階	931階	932階	933階	934階	935階	936階	937階

## 2 市町村内施設被害状況把握

### (1) 市町村内施設被害状況一覧表の作成

#### ① 被害予測・施設被害報告読込

フォルダに保存してある1-(2)で作成した「施設情報実態調査」、施設から送信された「施設被害状況報告」を「施設情報実態調査を読込」「施設被害報告一覧表を読込」をクリックし、アプリ機能で読込

#### ② 被害予測一覧の反映

施設情報実態調査のデータは事業所番号で照合され、「施設情報調査欄」に反映  
(反映データ)

職員数、利用者数、要担送者、建物高(階)、耐震構造、自家発等稼働時間、貯水量、食糧備蓄保有量(日)、連絡手段

#### ③ 被害状況

初期設定はハザードマップ被害予測データを掲載

津波浸水、震度、液状化の被害状況が判明した場合、修正入力

#### ④ 施設被害状況報告の反映

- 施設被害状況報告のデータは事業所番号で照合され、「情報共有システム施設被害状況報告欄」に反映

- 音声で施設被害状況報告された場合には、その内容を「市町村内施設被害状況一覧表」に代行入力

(反映データ)

浸水損壊、建物損壊、停電、自家発等稼働時間、断水、貯水量、食糧備蓄保有量(日)、要避難者、要医療避難者、要施設外避難者、勤務可能者、職員支援

#### ⑤ 算定データ

算定元データが施設被害状況報告の場合は「被害報告」、被害予測の場合は「予測被害」と表示

### (2) 被害評価

アプリ機能により建物行動評価群、ライフライン支援状況を被害報告内容、予測被害内容から右表支援方針算定根拠のとおり算定し、施設の行動評価、支援方針を表示

建物行動評価群	ライフライン支援状況	行動評価	支援方針
安否確認；震災 全壊 浸水 全壊		安否確認；建物行動評価；安否確認	緊急支援
全員避難；震災 大規模半壊 浸水 大規模半壊		全員避難；建物行動評価；全員避難	緊急支援
一部避難；建物半壊	重点支援；燃料 or 水 or 食糧 無・半日	籠城避難；建物行動評価＝一部避難，要医療者≧1 ライフライン支援 重点支援	重点支援
籠 城；一部損壊	要支援；燃料 or 水 or 食糧 3日以下	籠 城；建物行動評価＝籠城 ライフライン支援；重点・要支援調整	要支援調整
機能維持；震災・浸水被害無	要観察；燃料 or 水 or 食糧 4日以上	警 戒；ライフライン支援 要観察	要観察

### 3 現状分析と支援方針

- ・ アプリ機能で表示された施設被害状況、支援内容、要避難者を現状分析シートに転記し、施設別の支援方策を検討し、福祉担当者、医療担当者、危機管理担当者と共有
- ・ 管内福祉避難所、水路手段の被災状況を確認
- ・ 市町村で避難先、避難手段確保可能な場合は市町村で調整

項目		現状	対策
本部・組織体制			
被害状況	地域		
	施設		
情報伝達			
支援方針			

#### 4 市町村内施設要避難者把握

施設より送付された「要避難者一覧表」を集計し、医療搬送対象者、施設外避難者を把握  
市町村で搬送先が調整できた場合は避難先欄に避難先名を入力

事業所番号	名前(カナ)	年齢	性別	介護度	継続医療	安否	会話	表情(顔面蒼白)動作(体の呼吸)				出血	重症度	要医療	要避難種別	一時移動場所	避難先
2397500071	リヨウシャ1	82	男	介護4	経管栄養	不明	普段どおり	普段どおり	普段どおり	普段どおり	無	白	-	施設外避難	行方不明	調整中	
2397500071	リヨウシャ2	85	女	介護3	なし	負傷	普段どおり	普段どおり	普段どおり	いつもと違う	無	黄	-	施設外避難	緊急避難場所へ	近隣施設・避難所	
2397500071	リヨウシャ3	88	男	介護3	喀痰吸引	無事	普段どおり	普段どおり	普段どおり	いつもと違う	無	黄	○	医療避難	緊急避難場所へ	近隣施設・避難所	
2397500071	リヨウシャ4	90	女	介護5	経管栄養	無事	いつもと違う	いつもと違う	普段どおり	いつもと違う	無	黄	○	医療避難	緊急避難場所へ	近隣施設・避難所	
2375600273	リヨウシャ1	82	男	介護4	経管栄養	負傷	いつもと違う	普段どおり	いつもと違	いつもと違う	無	黄	○	医療避難		301 調整中	
2375600273	リヨウシャ2	88	男	介護3	喀痰吸引	無事	普段どおり	普段どおり	普段どおり	いつもと違う	無	黄	○	医療避難		303 調整中	
2375600273	リヨウシャ3	90	女	介護3	経管栄養	負傷	いつもと違う	いつもと違う	いつもと違	いつもと違う	無	赤	◎	医療避難		304 調整中	
2375600273	リヨウシャ4	92	男	介護4	酸素	負傷	いつもと違う	いつもと違う	いつもと違	いつもと違う	無	赤	◎	医療避難		305 調整中	
2375600273	リヨウシャ5	88	女	介護4	なし	扶ま	いつもと違う	いつもと違う	いつもと違	いつもと違う	無	赤	◎	医療避難		301 調整中	

#### 5 情報伝達

「市町村内施設被害状況一覧表」、「市町村内施設被害予測一覧表」、「市町村内施設調査一覧」、「要避難者一覧表」各ファイルを県へメール送信



## 2 現状分析と支援方針

アプリ「県内施設被害状況一覧」で表示された施設被害状況、災害時情報共有システムの被害状況集計を現状分析シートに転記し、県内被害状況、医療機関被害状況を福祉、医療、危機管理部門で共有し、避難、籠城支援の優先順位、支援方法を検討する。

### (1) 優先順位の目安

優先順位	支援方針	行動評価	支援内容
1	緊急支援	安否確認	建物が全壊で緊急救出、安否確認支援かつ全員避難支援
2		全員避難	建物が大規模半壊以上で緊急に施設外へ全員避難支援
3	重点支援	籠城避難	建物が半壊以上でライフライン消失が予測され、継続医療が必要な利用者がいる施設に対する籠城避難支援
4	要支援調整	籠城	建物が半壊以上でライフラインも消失し、かつ医療搬送が必要な傷病者が生じた施設への医療搬送・施設外避難支援と籠城支援
5	要観察	警戒	建物は一部損壊状態もライフラインが消失し、施設機能維持が困難な施設に対する籠城支援

### (2) 具体的支援調整

#### a. 要医療者搬送先調整

市町村から送付された要避難者一覧表の要医療搬送者を保健医療調整本部と共有し、医療情報「広域災害救急医療情報システム」等で医療機関の受入れ状況を確認し、連携調整する。

#### b. 施設外避難者搬送先調整

市町村から送付された要避難者一覧表の要医療搬送者情報を保健医療調整本部、災害対策本部と共有し、県内・隣県・広域搬送かを調整する。

#### c. 物品支援調整

県内施設被害状況を保健医療調整本部と共有し、災害対策本部物品担当班と調整する。

#### d. 搬送調整

県内施設被害状況を保健医療調整本部と共有し、災害対策本部物品担当班と調整する。

### (3) 現状分析シート例

項目	現状	対策
本部・組織体制		
被害状況	地域	
	施設	
情報伝達		
支援方針		

#### 【手順】

(分析項目)  
組織体制、被害状況、情報伝達、支援方針

現状記載



分析



対策検討



対策記載

# 編集後記

D H-W ins 行動計画は、愛知県西部海拔ゼロメートル地帯に所在する市町村、施設、医療機関の方々のご協力を賜り、実効性のある行動計画とすることができました。

編集協力をいただいた皆様に厚く御礼を申し上げます。

令和7年3月 執筆者・編集者一同

## 執筆者

小澤和弘<sup>1)</sup>、柴田隼人<sup>1)</sup>、高橋礼子<sup>1)</sup>、川谷陽子<sup>2)</sup>、津田雅庸<sup>1)</sup>

## 編集者

舘陽平<sup>3)</sup>、山田奈保子<sup>3)</sup>、岡田万由子<sup>1)</sup>、阪本友美子<sup>1)</sup>、牧野久美子<sup>1)</sup>

## 編集協力者

是枝大輔<sup>4)</sup>、萩原康友<sup>5)</sup>、北川喜己<sup>5)</sup>、花木芳洋<sup>6)</sup>、岩野花穂<sup>7)</sup>、中井基人<sup>7)</sup>、加藤義久<sup>9)</sup>、山田光正<sup>9)</sup>、柳瀬智法<sup>10)</sup>、八木久美子<sup>10)</sup>、津田喬子<sup>18)</sup>、池田 孝<sup>18)</sup>、中野高史<sup>19)</sup>、西尾幸尚<sup>20)</sup>、横道知里<sup>21)</sup>、水野義久<sup>22)</sup>、金井ちずえ<sup>23)</sup>、松永紀美<sup>24)</sup>、岩田大助<sup>25)</sup>

## 協力機関

- 1) 愛知医科大学災害医療研究センター
- 2) 愛知医科大学病院
- 3) 愛知医科大学総務広報課
- 4) 厚生労働省 DMAT 事務局
- 5) 名古屋掖済会病院
- 6) 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院
- 7) あま市福祉部高齢福祉課
- 8) あま市市長公室危機管理課
- 9) 愛西市企画政策部危機管理課
- 10) 愛西市保険福祉部高齢福祉課
- 11) 大治町福祉部長寿支援課
- 12) 大治町総務部防災危機管理課
- 13) 津島市市長公室危機管理課
- 14) 津島市健康福祉部高齢介護課
- 15) 弥富市総務部防災課
- 16) 弥富市健康福祉部介護高齢課
- 17) 飛島村民生部福祉課
- 18) 医療法人親和会老人保健施設松和苑
- 19) ケアハウス陽だまりの里
- 20) 複合施設悠縁
- 21) 特別養護老人ホーム にじいろ あすなろ
- 22) 医療法人フジタ
- 23) 医療法人フジタ グループホーム「ポプラ」
- 24) 小規模多機能型居宅介護施設「ふくじゅそう」
- 25) 社会福祉法人貴徳会特別養護老人ホーム希望の郷大治
- 26) 特別養護老人ホーム やすらぎの里

